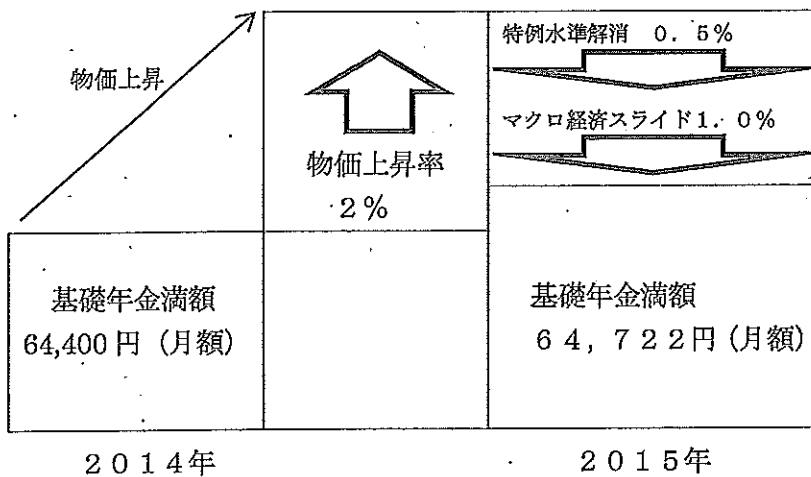
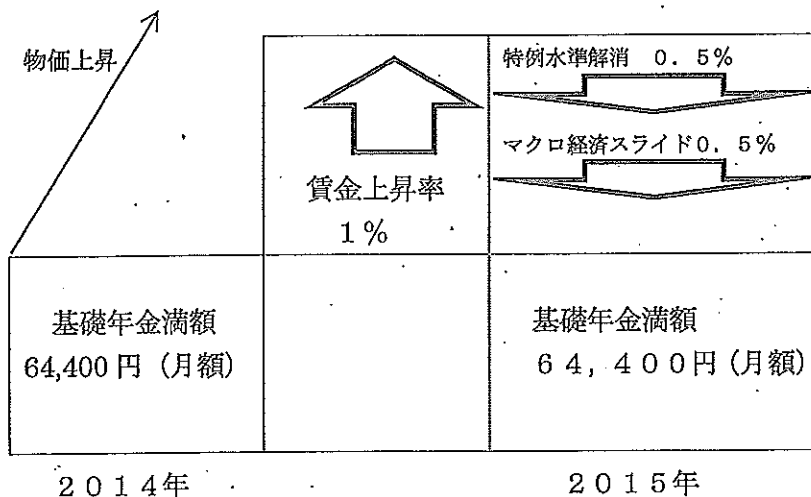


2015年4月の基礎年金額のイメージ

- 物価上昇率2% 賃金上昇率3% マクロ経済スライド調整率1%の場合
物価上昇率2%の改定が行われるが、特例水準の改定0.5%、マクロ経済スライド調整率1.0%の発動により、0.5%の改定にとどまる。



- 物価上昇率2% 賃金上昇率1% マクロ経済スライド調整率1%の場合
賃金上昇率が物価上昇率より低い場合、賃金上昇率で改定。特例水準の解消0.5%があるためマクロ経済スライド調整率0.5%が発動され、年金額は変わらず。



出典：高橋千鶴子事務所作成